

令和元年度 第2回我孫子市廃棄物基本問題調査会議事概要

1. 会議の名称 我孫子市廃棄物基本問題調査会
2. 開催日時 令和2年1月10日（金） 午後1時30分から
3. 開催場所 我孫子市役所 庁舎分館1階 大会議室
4. 出席委員 吉川康之、出口浩、鈴木正己、鈴木泰子、伊藤啓子、
渡邊せつ子、山口貴司、金井義昌、内藤勝信、中野優、
清家芳光、日笠克巳、亀田清範（以上13名）
欠席委員 若王子範文（以上1名）
事務局（市） 伊藤課長、佐野主幹、野村課長補佐、川口主査長、
大高担当業務長、五十嵐担当業務長
5. 議 題
 - (1) 委員の解嘱に伴う会長及び副会長の選任について
 - (2) 諮問事項「『分別区分の変更について』に対する答申について」
 - (3) 報告事項「我孫子市廃棄物の減量、資源化及び適正処理に関する条例の一部改正について」
 - (4) 報告事項「パブリックコメント ふれあい工房の廃止について」
 - (5) 報告事項「ゴミゼロ運動の見直しと町内公園清掃について」
 - (6) 報告事項「工事期間中の搬入受入方法について」
 - (7) 報告事項「新廃棄物処理施設の整備について」
6. 公開 公開
7. 傍聴人 なし
8. 会議の内容
 - (1) 委員の解嘱に伴う会長及び副会長の選任について
会長に鈴木正己委員、副会長に出口浩委員を選出した。
 - (2) 諮問事項「『分別区分の変更について』に対する答申について」
事務局から、答申書の案における調査会からの要望事項①「布団について、2枚までを1点とすること」、②「市民に対する周知期間を確保するため、分別区分を変更する時期は、令和2年10月1日以降とすること」について説明を行った。
質疑回答の後、採決を行い、全員の賛成で事務局案のとおり答申書を決定した。
【主な質疑回答】
委 員 市民への周知はどのように実施していくのか。
事務局 小冊子「ごみと資源の分け方出し方」を全戸配布した後に、分別区分を変更します。また、それよりも早い段階で、広報やホームページでお知らせします。
 - (3) 報告事項「我孫子市廃棄物の減量、資源化及び適正処理に関する条例の

一部改正について」

事務局から、委員からの指摘どおりに条文の案を修正した上で、令和元年12月27日付けで条例が公布された旨を報告した。

【主な質疑回答】

委員 パブリックコメント実施の結果公表ホームページでは、修正する前の条文のままだが問題ないか。

事務局 パブリックコメントでは意見がなく、提出された意見に基づく修正を行ったわけではないので修正前の条文を掲載しています。

(4) 報告事項「パブリックコメント ふれあい工房の廃止について」

事務局から、パブリックコメント中の案について説明を行った。

【主な質疑回答】

委員 ふれあい工房の建物は、老朽化に伴い除却するのか。

事務局 市民のみなさんが多数来場する施設として活用することは難しいですが、他の活用方法を庁内で検討しています。

委員 ふれあい工房で培った経験をどのように活かしていくのか。

事務局 新リサイクルセンターを整備するにあたり、経験を活かした事業を検討していきます。

委員 松戸市では中古家具の再生と販売が盛況だと聞いている。同じような取り組みをできないか。

事務局 ふれあい工房の設置当初からしばらくは、中古家具の再生と販売が盛況でした。最近は木工のアドバイザーの減少が著しく、中古家具の販売も振るわない状況でした。そのような経験も活かして、有効な事業を計画していきます。

委員 高齢者が捨てるものを若者がリユースする仕組みは作れないか。

事務局 不用品交換情報の提供については、民間の仕組みを活用していただきたいと考えています。

委員 工房の交換情報の利用は、昔よりもずっと少なくなりました。

(5) 報告事項「ゴミゼロ運動の見直しと町内公園清掃について」

事務局から、自治会等の実情を踏まえ、ゴミゼロ運動を町内公園清掃へ移行していく旨の説明を行った。

【主な質疑回答】

委員 賛成したい。自治会からは、たくさんの枝木や落ち葉、雑草が出て、無駄であると考え。ドイツのフライブルク市では、垣根に枝木をためたり、公園の落ち葉も柵の中に入れて土に還している。

委員 枝木や雑草は速やかに処分されることが望ましいと考えます。我孫子市は、近隣市と比べて財政的に厳しいという印象がある。そのような状況からか、廃棄物処理にも後退感が出ている。調査会の意見も大いに活用して、担当者が積極的に取り組んでほしい。

(6) 報告事項「工事期間中の搬入受入方法について」

事務局から、新廃棄物処理施設の建設に伴い令和2年度の途中から工事車両や工事関係者の出入りが始まることを踏まえ、クリーンセンター場内における歩行者や自動車の安全確保を目的として、工事期間中は自己搬入する市民の定員を定め、事前に予約する方法等を採用したい旨について説明を行った。

【主な質疑回答】

委員 10時、11時など、予め時間を区切って来所してもらおうようにすることが望ましいと考える。

会長 今後、事務局から資料が出されるとのことなので、次回の調査会で確認したいと考えます。

(7) 報告事項「新廃棄物処理施設の整備について」

事務局から、我孫子市新廃棄物処理施設整備運営事業に係る落札者の決定について説明を行った。

【主な質疑回答】

委員 落札額は、見込みよりも高かったのか。

事務局 かなり安価で落札されました。

委員 人口減少などを踏まえたごみ量の検証はしたか。

事務局 検証を行った結果、焼却炉は、現在の195トンを下回る120トンになりました。

【その他の意見】

委員 ごみを出さないような運動、リユースを進める取り組み、生ごみの水切りなどを啓発してほしい。

上勝町のように、ゼロ・ウェイスト運動を展開してはどうか。

会長 3Rの取り組みについては、別の機会に議論したいと考えます。

以上